

# 読む

1. 英文和訳が目的ではなく内容の理解が目的です。
2. 知らない単語は必ずオンラインでもいいから辞書で引くという練習をします。
3. 音読が一番効果のある練習方法です。

インターネットのおかげで読むものには困りません。技術的な論文から会社の電子メールまでインターネット上にはたくさん無料の教材があります。自分の興味の向くままに読み、知らない単語は必ずオンラインでもいいから辞書で引くという練習をします。ここでも後で「書く」時に必要な表現の引き出しを増やすつもりで読みます。英文和訳が目的ではなく内容の理解が目的です。ひとつの文章に知らない単語がふたつ以上あると、それぞれの単語に複数の意味がある場合その組み合わせの数はぐっと大きくなります。ですから知らない単語の少ない、自分のよく知っている分野の英語から読む練習を始めます。平均してひとつの文に知らない単語がひとつ程度の文が今のあなたにちょうど良いレベルです。同じ教材をグループで読んでその内容について英語で話し合うのも良い練習方法です。ひとりでは自分が間違っているにも気づかないので、他の人と話し合う事で自分の間違いに気づきます。

また辞書を引いても意味が分からない単語や表現がある場合は、教えてくれそうな人に聞くのが近道です。時間の節約にもなります。自分で読んだ分だけ確実に頭に入りますし、次の「書く」という作業に役立ちます。読んだ量が増えるにつれて知識が増え、ある時から量が質に変化します。自分の知っ